

(地 572) (健Ⅱ565)
令和 3 年 3 月 25 日

都道府県医師会
担 当 理 事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 范 敏

新型コロナウイルス感染症に係る後方支援医療機関の確保に関する
自治体の実践例や、G-MIS の調査項目追加について

貴職におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より各都道府県等衛生主管(部)局に対し、標記の事務連絡が発出されました。

本事務連絡は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS)の入力において、後方支援に関する医療機関間の連携がより図りやすくなるよう、新たに、「新型コロナウイルス感染症から回復したが引き続き入院管理を要する患者（回復後患者）の受入可否」と、本質問に「(患者の状態等の) 条件付きで受入可能」と回答した場合に「医療処置の内容について」、「看護内容について」、「リハビリ内容について」等の調査項目が追加されました。また、日次調査においては、「回復後患者受入可能病床数」が追加されています。

併せて、令和 3 年 2 月 16 日付「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組の推進について」（日医発第 1133 号（地 523）（健Ⅱ 493））にてご案内しました各種支援策等について、他の地域でも参考となるような自治体の実践例として(1)から(3)の通り取りまとめられましたこと申し添えます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会管下の郡市区医師会並びに関係医療機関等への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 3 年 3 月 19 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保健所設置市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省新型コロナウイルス感染症
対策推進本部

新型コロナウイルス感染症に係る後方支援医療機関の確保に関する
自治体の実践例や、G-MIS の調査項目追加について

新型コロナウイルス感染症対策については、ご尽力及びご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、各都道府県におかれては、「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組の推進について」（令和 3 年 2 月 16 日付事務連絡）でお示しした各種支援策等をご活用いただき、新型コロナウイルス感染症に係る後方支援医療機関の確保に向けた取組を進めていただいているところです。今般、そうした取組のうち他の地域でも参考となるような自治体の実践例について下記のとおり取りまとめ、また、後方支援に関する医療機関間の連携がより図りやすくなるよう、G-MIS（新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム）の調査項目追加を行いました。

各都道府県におかれては、本事務連絡の内容を参考にしつつ、後方支援医療機関の確保等の医療提供体制の整備に引き続き取り組んでいただくようお願いいたします。

記

1. 新型コロナ感染症から回復した後も引き続き入院管理が必要な患者の転院支援に関する実践例について

- (1) 既存のシステムを利用した新型コロナ感染症から回復した後も引き続き入院管理が必要な患者（以下「回復後患者」という。）の転院支援について

て【埼玉県】（別添１）

- 回復後患者を受け入れる後方支援医療機関（以下「後方支援医療機関」という。）のリストを作成し、新型コロナウイルス感染症入院患者受入医療機関（以下「受入医療機関」という。）と共有を行う。
- 後方支援医療機関は、埼玉県独自の救急医療情報システム上で、患者転院調整業務に必要な情報（提供可能な診療行為など）を日々更新し、受入医療機関は同システム上で個々の患者の条件にあった後方支援医療機関を検索し、医療機関間での転院調整を行う。

（２）後方搬送支援について【神奈川県】（別添２）

- 「後方支援病院確保チーム」を創設し、後方支援病院（回復後患者受入医療機関）の確保に取り組んでいる。
- 搬送元病院（新型コロナ患者受入医療機関）が回復後患者の情報を登録、後方支援病院が回復後患者の受入可能病床数などを登録し、お互いに入力情報を照合できる「後方搬送マッチングシステム」を稼働している。
- 当該マッチングシステムを活用し、神奈川県職員らで創設された「後方搬送調整チーム」が転院調整を行う。
- 後方支援病院（回復後患者受入医療機関）に対しては協力金などの支援を行う。

（３）後方搬送支援について【大阪府】（別添３）

- 受入可能病院リストを作成、新型コロナ患者受入病院へのリストの提供、患者を受け入れた病院に対する支援金の支給などの対策を組み合わせることで、病院間の連携の推進に取り組み、長期入院患者の転退院の促進に繋げる。

２．回復後患者の転院調整に関する G-MIS の調査項目追加について

今般、G-MIS において、回復後患者の転院調整に関する負担軽減に向けて、別添４の通り、新たな項目を設けております。各都道府県においては、G-MIS に登録されている医療機関へ本内容を周知すると共に、必要に応じて後方支援医療機関のリスト作成、回復後患者の転院調整等にご活用ください。

また、回復後患者の受入体制の強化については、「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組の推進について」（令和３年２月１６日付事務連絡）において、後方支援医療機関の診療報酬引上げ等の支援を行っておりますので、こちらも活用いただきながら、後方支援医療機関の確保等の医療提供体制の整備に向けた取組を進めていただきますようお願いいたします。

事務連絡に関する問い合わせ先

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部医療班 木下

電話番号：03-3595-2194

G-MIS に関する問い合わせ

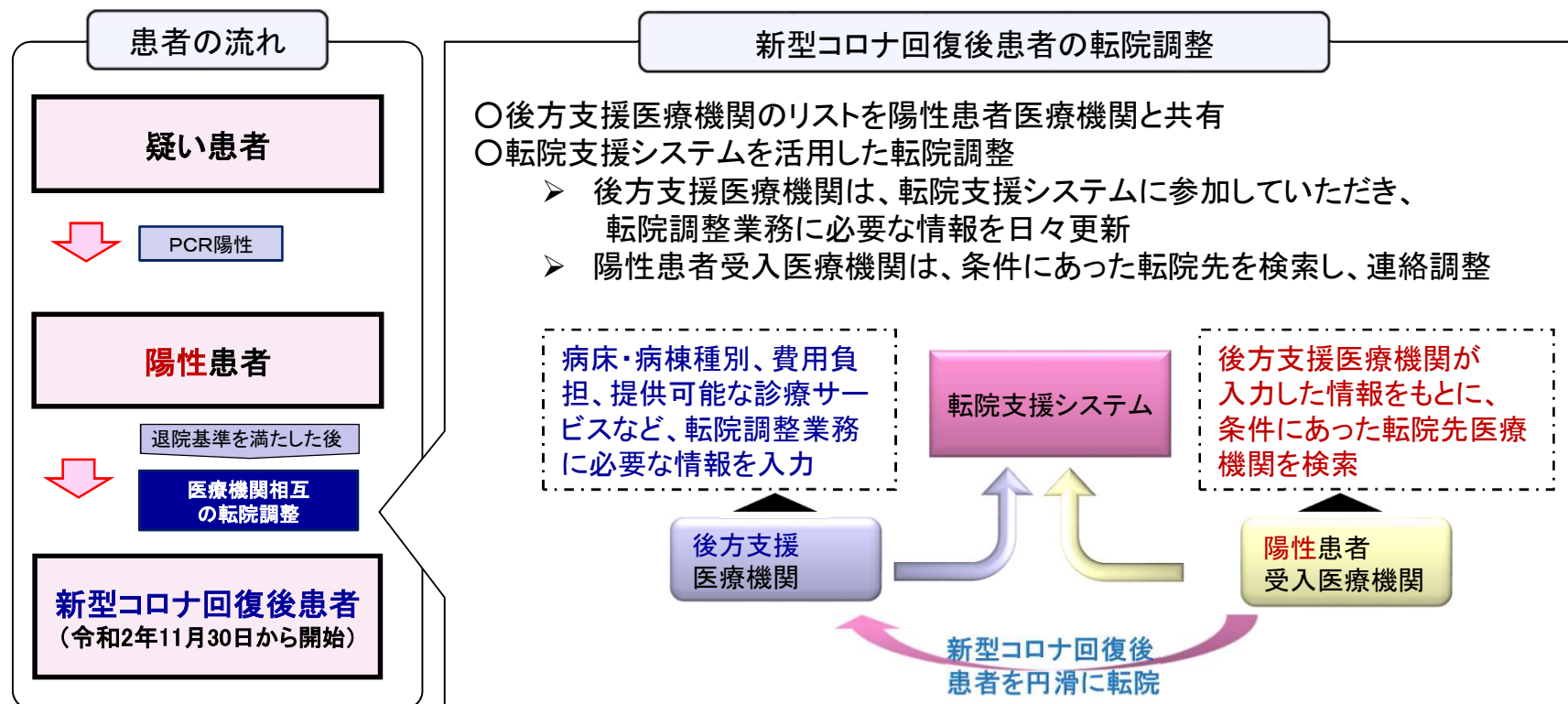
厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部医療班 G-MIS チーム

電話番号：03-3595-3205

以上

新型コロナ回復後患者の転院支援

＜埼玉県の取組＞ 既存の転院支援システムを新型コロナ回復後患者の転院支援に利用している。



※**新型コロナ回復後患者**…新型コロナウイルス感染症から回復した後も、引き続き入院管理が必要な患者

※**疑い患者**…新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を有している患者

※**陽性患者**…新型コロナウイルス感染症の検査を行い陽性と診断された患者

※**陽性患者受入医療機関**…新型コロナウイルス感染症入院患者の受入医療機関

※**後方支援医療機関**…陽性患者受入医療機関から回復後患者を受け入れる医療機関

※**転院支援システム**…埼玉県における救急医療情報システム内の転院支援機能を利用したシステム

埼玉県救急医療情報システム

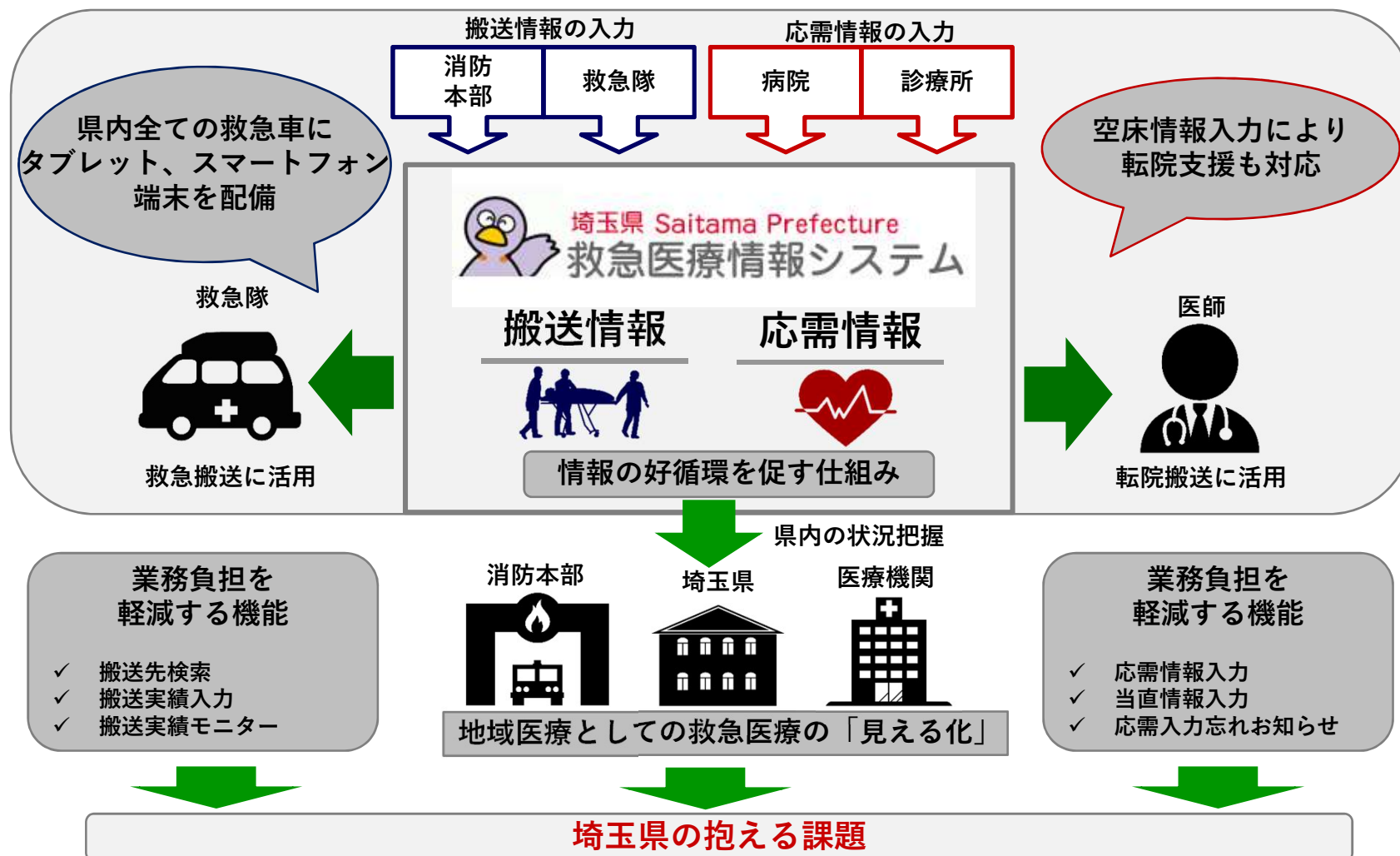
システム概要

令和2年3月

救急医療情報システムとは

別添 1

救急医療情報システムは、県内の病院、診療所、及び消防機関等をインターネットで結び、医療機関と消防機関との相互連携に活用することを目的に構築されたシステムです。



埼玉県救急医療情報システム

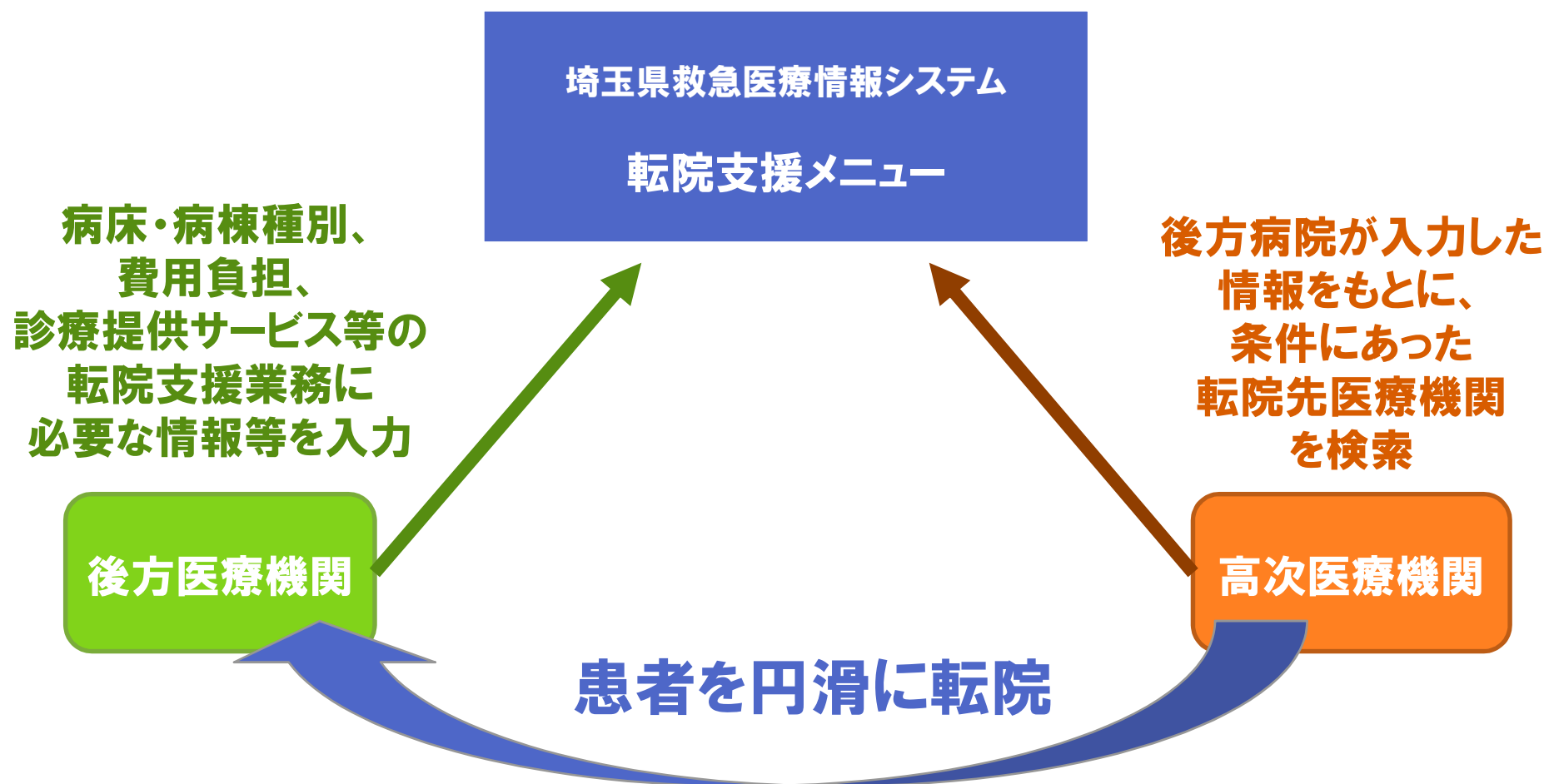
転院支援機能の概要

令和2年3月

1. 転院支援機能の概要

別添 1

救急医療機関等の高次医療機関から、後方医療機関への円滑な転院を支援する機能として、埼玉県救急医療情報システムに、新たに「転院支援メニュー」が加わります。



2. 転院支援メニューの3つの機能

別添 1

埼玉県救急医療情報システムの関係者メニューに、新たに「転院支援メニュー」が追加されます。「転院支援メニュー」には、転院先検索、後方医療機関の基本情報入力、後方医療機関の空床情報入力の3つの機能があります。



転院先検索(高次医療機関用)

後方医療機関が入力した情報を条件に、転院先医療機関を検索することができます。

後方医療機関の基本情報入力

連絡先、保有病棟の種類、そして費用など、後方医療機関の基本情報を入力することができます。

後方医療機関の空床状況入力

基本情報で入力した保有病棟について、日々の空床状況を入力することができます。

3. 後方医療機関の基本情報入力

別添 1

後方医療機関は、基本情報画面から、連絡先、ホームページURL、診療科目、保有病棟を入力します。また、選択した保有病棟ごとに、受入できない患者の条件、費用等、特記事項 を登録することができます。

後方医療機関の基本情報入力 [1110005933] テスト後方医療機関

各機関の連絡先やホームページURL、診療科目及び保有病棟等の基本情報を変更します。
変更箇所を入力後、「確認」ボタンを押してください。

機関コード	機関名	住所
1110005933	テスト後方医療機関	

1 連絡先

※必須入力項目

代表電話番号 ※

担当部署の直通電話番号 ※

担当部署FAX番号 ※

担当部署名 ※

担当者名

担当者メールアドレス

電話番号・FAXは「-」を入れ、市外局番から入力してください。

2 ホームページURL

ホームページURL

3 診療科目

※転院後に診療や何らかのフォローが可能な診療科目

診療科目	内科	小児科	精神科
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐

4 保有病棟

※必須入力項目

保有病棟	一般	回復期リハビリテーション
☐	☒	☒
☐	☐	☐
☐	☐	☐

チェックした保有病棟ごとに
受入できない患者の条件、
費用等、特記事項
を入力

保有病棟

※必須入力項目

保有病棟	一般	回復期リハビリテーション
☐	☒	☒
☐	☐	☐
☐	☐	☐

受入できない患者の条件

医療的 condition	その他 condition
☐ 腎・膀胱病 ☐ ストーマケア ☐ 気管切開 ☐ 人工呼吸器 ☐ NPPV ☐ インスリン皮下注射 ☐ 腎臓・頭頸部損傷 ☐ 認知症（徘徊） ☐ 感染症 ☐ 輸血	☐ 胃瘻 ☐ 酸素吸引 ☐ 痰の吸引 ☐ CPAP ☐ 血液透析 ☐ ターミナルケア ☐ 危険行為 ☐ 麻薬管理 ☐ 精神疾患（うつ・自傷）
☐	☐

※何らかの理由により、やむを得ず受け入れられない場合に限る

費用等

個室料金	保険外負担	バジャマ	おむつ	リネン

※上記以外の保険外負担があれば記載ください。
※他、例えばバジャマ、おむつ、リネンがセット販売であれば、そのセットと価格をご記載ください。

特記事項

特記事項

入力された内容でよろしければ、「登録」ボタンを押してください。

登録

4. 後方医療機関の空床状況入力

別添 1

前項の「後方医療機関の基本情報入力」の「保有病棟」でチェックをつけた病棟について、後方医療機関は、空床状況の入力を行うことができます。入力項目は、現在の空床有無、空床無しの場合の空床見込み、待機人数、備考です。

■ 後方医療機関の空床状況入力

空床情報について入力してください。

機関コード
1110005933

更新する病棟にチェックをつけて、更新ボタンを押す

① 空床情報

病棟	現在の空床有無	空床見込み	待機人数 (任意)	備考	最終更新日時	更新
一般	☒ ☐	☐ 1週間以内 ☐ 2週間以内 ☐ 2週間以上	人		2020/03/01 15:45:40	☐
回復期 リハビリ テーション	☐ ☒	☒ 1週間以内 ☐ 2週間以内 ☐ 2週間以上	1 人		2020/03/01 15:45:40	☐
地域包括ケア	☒ ☐	☐ 1週間以内 ☐ 2週間以内 ☐ 2週間以上	人		2020/03/01 15:45:40	☐

全選択 全解除

更新

24時間以上更新がない機関には、関係者メニューにメッセージを表示

転院支援メニュー

⚠️ お願い 以下の病棟の空床状況が24時間以上更新されていません。
こちらより空床情報のご確認をお願いします。

一般 回復期リハビリ 地域包括ケア 療養型 障害者特殊患者 緩和ケア

転院支援

5. 転院先検索(高次医療機関用) ～検索条件～

別添 1

高次医療機関は、以下の条件を指定して、転院先の後方医療機関を検索することができます。

転院先検索 (高次医療機関用)

[1110005933] テスト後方医療機関

転院先医療機関検索

キーワード (名前の一部) や市町村を組み合わせで検索することができます。
※キーワードは、全角文字で入力してください。
※キーワードまたは市町村を指定しない場合は、無条件となります。

医療機関名称

市区町村選択

選択する

選択された市区町村

空床状況

☐ 有 ※現在空床がある医療機関のみを検索

保有病棟

☐ 一般
☐ 地域包括ケア
☐ 緩和ケア

☐ 回復期リハビリテーション
☐ 療養型
☐ 障害者・特殊患者

診療科目

☐ 内科
☐ 眼科
☐ 産婦人科
☐ 整形外科
☐ 皮膚科
☐ 脳神経内科

☐ 耳鼻咽喉科
☐ 精神科
☐ 外科
☐ 泌尿器科
☐ 脳神経外科
☐ 齒科

転院患者に必要な医療的条件

☐ 腎・膀胱瘻
☐ ストーマケア
☐ 気管切開
☐ 人工呼吸器
☐ NPPV
☐ インスリン皮下注射
☐ 脊髄・頭髄損傷
☐ 認知症 (徘徊)
☐ 感染症
☐ 輸血

☐ 胃瘻
☐ 酸素吸引
☐ 痰の吸引
☐ CPAP
☐ 血液透析
☐ ターミナルケア
☐ 危険行為
☐ 麻薬管理
☐ 精神疾患 (うつ・自傷)

全選択 全解除

検索

検索条件

- ・医療機関名
- ・市町村
- ・空床有
- ・保有病棟
- ・診療科目
- ・転院患者に必要な医療的条件

6. 転院先検索(高次医療機関用) ～検索結果一覧～

別添 1

検索結果一覧では、保有病棟ごとに情報が表示され、並び替えることもできます。

☒ 検索結果

医療機関名称	指定なし
市区町村	さいたま市 西区、さいたま市 北区、さいたま市 大宮区、さいたま市 見沼区、さいたま市 中央区、さいたま市 桜区、さいたま市 浦和区、さいたま市 南区、さいたま市 緑区、さいたま市 岩槻区、草加市、八潮市
空床状況	すべて
保有病棟	すべて
診療科目	内科、外科、脳神経外科
転院患者に必要な医療的条件	NPPV

表示順変更

☒ 保有病棟順
 ☐ 更新日時順
 ☐ 距離順 (指定の住所から近い順)

--二次救急医療圏--
 --市区町村--
 --大字・町--
 --町名・字なし--
 更新

※転院調整を行う際は必ず御相談ください(病院情報の確認含む)

210件中1-10件を表示

保有病棟	医療機関情報	代表TEL 担当部署直通 TEL 担当部署FAX番号	空床 状況	空床 見込み	対応患者 (医療的条件)	その他 条件	診療科目	最終更新日時
一般	〇〇総合病院 特記 病院HP	04-XXXX-XXXX 04-XXXX-XXXX		-	腎・膀胱瘤 ストーマケア インスリン皮下注射 ターミナルケア 精神疾患(うつ・自傷) ...その他	無	内科 眼科 外科 産婦人科 泌尿器科 ...その他	2019/10/20 13:25:40
一般	〇〇病院	043-999-9999 043-999-9999	×	1週間 以内	腎・膀胱瘤	有 特記	内科 耳鼻咽喉科	2019/10/20 13:25:41
一般	△△病院 特記	043-999-9999 043-999-9999	×	2週間 以内	腎・膀胱瘤 ストーマケア	有	外科 産婦人科	2019/10/20 13:25:42

指定した検索条件

条件を指定して、一覧を並び替えることもできます。

- ・保有病棟順
- ・更新日時順
- ・指定した場所からの距離順

一覧では、以下の情報が表示されます。

- ・保有病棟
- ・医療機関名
- ・電話番号
- ・空床有無
- ・空床見込み
- ・対象患者の情報
- ・診療科目
- ・最終更新日時

別添 1

転院状況				
一般	回復期リハビリテーション	地域包括ケア		
空床				
現在の空床	○			
空床見込み	-			
待機人数	-			
備考	-			
最終更新日	2020/03/01 15:45:40			
対応患者（詳細は必ず御相談ください）				
※グレーは、対応不可の条件です。				
※その他の条件は、個別にご相談ください。				
<医療的条件>				
胃・膀胱瘻	胃瘻	ストーマケア		酸素吸引
気管切開	痰の吸引	人工呼吸器		CPAP
NPPV	血液透析	インスリン皮下注射		ターミナルケア
腎臓・脳神経損傷	危険行為	認知症（徘徊）		麻薬管理
感染症	精神疾患（うつ・自傷）	転血		
<その他条件>				
無	-			
費用等				
個室料金	10000 円/日～			
保険外負担	パジャマ	500 円/日	持ち込み可否	○
	おむつ	700 円/日	持ち込み可否	○
	リネン	300 円/日	持ち込み可否	○
特記事項				
特記事項	-			

1 後方支援病院確保チーム



2 後方搬送マッチングシステム



3 後方搬送調整チーム



4 後方支援病院への支援



※後方搬送・・・新型コロナウイルス感染症入院患者受入医療機関から新型コロナウイルス感染症から回復した後も引き続き入院管理が必要な患者を転院搬送すること。
※後方支援病院・・・新型コロナウイルス感染症から回復した後も引き続き入院管理が必要な患者を受け入れる医療機関。

1 後方支援病院確保チームの創設

転院先となる病院を確保するため、対象となる医療機関への働きかけを専門的に行う「後方支援病院確保チーム」を創設しました。

2 後方搬送マッチングシステムの稼働

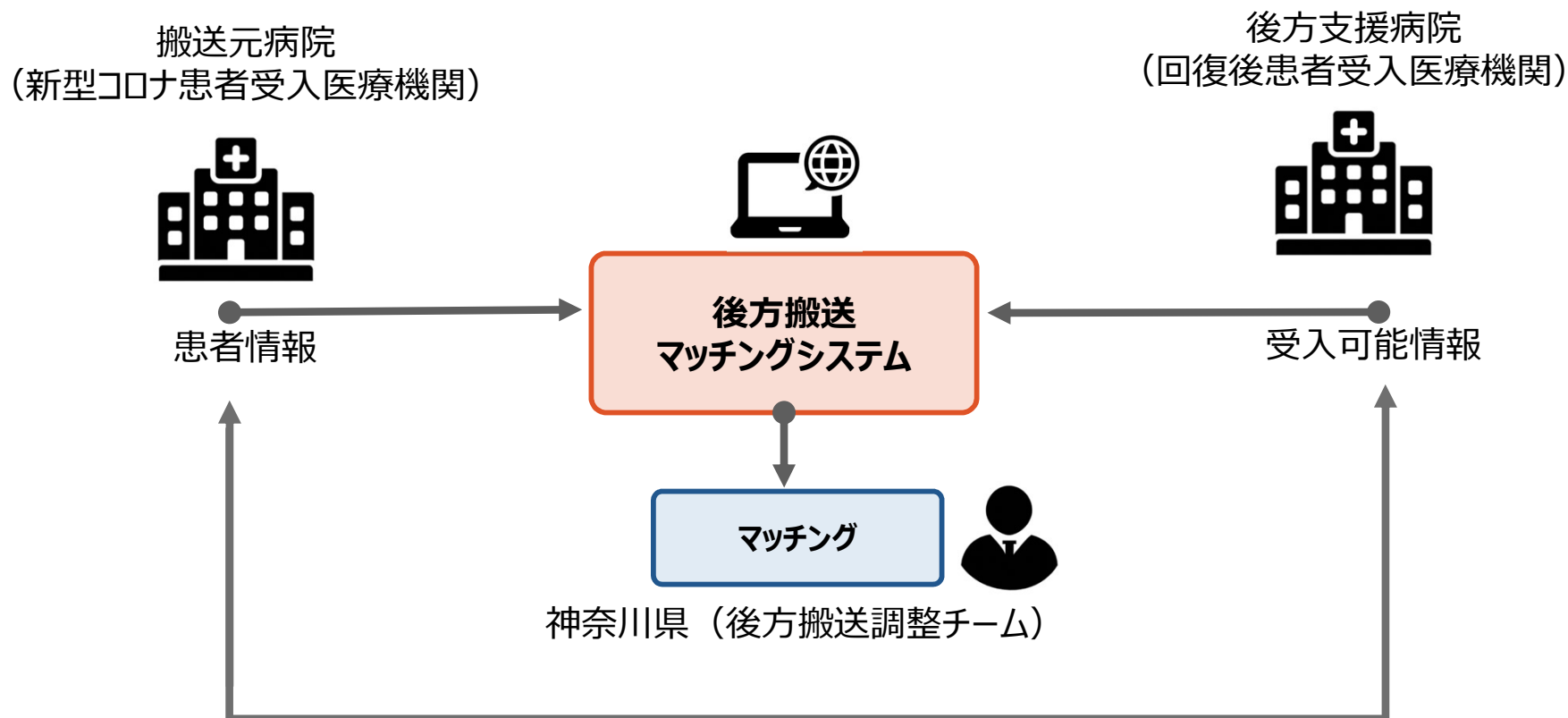
搬送元となる病院が性別、年齢、転院を希望する市区町村などの患者情報を、搬送先となる後方支援病院が受入可能病床数や診療科などを登録し、互いに照合できる「後方搬送マッチングシステム」を稼働しました。このシステムを活用することで、効率的な転院調整ができるようになります。

3 後方搬送調整チームの創設

重点医療機関等からの転院調整依頼を受け、「後方搬送マッチングシステム」を活用して、搬送元と搬送先を結びつけ、調整を行う「後方搬送調整チーム」を創設しました。

4 後方支援病院への支援

後方支援病院として登録いただける病院に対し、県からの要請に基づきあらかじめ確保していただいた病床1床あたり10万円の協力金を支給します。



* マッチング結果に基づいて当事者で直接最終調整

○後方支援病院確保チームの創設

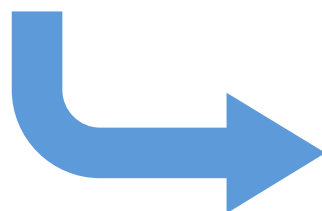
担当者2名（県職員）。神奈川モデル構築時の調整経験者を再招集。

○業務内容

1月中旬から候補となる医療機関に対し、リモートや訪問、関係団体のWeb会議等を活用し、後方支援病院の必要性等を説明。

☆説明内容

- ・後方支援病院での患者受入の重要性
- ・エビデンスに基づく退院基準と安全性
- ・補助制度、診療報酬増等のインセンティブ
- ・後方支援病院の認定までの手厚いフォロー



後方支援病院数の増加

2020.12月末	55病院
2021. 2月末	116病院

1. 人員体制

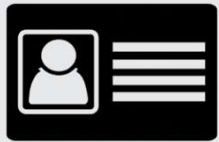
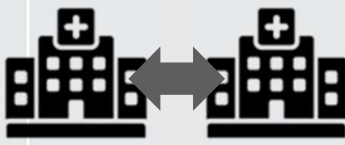
県職員で対応。担当者2名。医療機関調整業務の経験者等を招集

2. 業務内容

後方搬送調整を支援する体制構築

- ・各後方支援病院の詳細情報の調査登録
- ・マッチングアプリの作成、依頼に基づく後方搬送調整の実施

後方搬送調整について（流れについて）

	①受入病床数報告等	②搬送依頼	③搬送調整	④病院間調整	⑤調整完了・搬送
					
主担当	後方支援病院	搬送元病院	搬送調整班（県） 後方支援病院	後方支援病院 搬送元病院	搬送元病院
インタフェース	kintone	Kintone	電話/kintone	電話/kintone	—
使用アプリ	受入可能病床管理 下り搬送に係る調査	搬送調整依頼	受入可能病床管理	搬送調整依頼	搬送調整依頼
概要	受入可能な医療機関は、 受入可能病床数や受入体制に 変更があった場合更新する。	搬送したい患者情報を kintoneに登録し、必要に 応じて県に依頼する。	患者情報を確認し、条件に 合致する医療機関と調整 を行う。	搬送確定前に、医療機関 間で患者情報を確認し、 搬送時間を調整する。	搬送手段を手配し、患者 を搬送する。
作業内容	✓ 受入可能病床数の更新・ 登録 ✓ 基礎情報・受入体制更新	✓ 患者情報の登録 ✓ 県への依頼 （自院で直接調整する ことも可能）	✓ 患者情報の確認 ✓ 医療機関の検索および 調整	✓ 患者情報の確認 ✓ 搬送時間の調整	✓ 搬送
データ項目	■ 医療機関名 ■ 受入可能時期 ■ 受入病床数など	■ 性別・年齢 ■ 搬送先の市区町村 ■ 発症日・入院日 ■ その他症状など	■ 搬送先の医療機関名	■ 搬送日時	

後方支援病院 記入項目①

基礎情報

医療機関名称 * 取得 クリア 医療機関（正式名称） * 64文字以下 EMIS ID * 64文字以下

搬送担当者（担当課名） * 搬送担当者（役職名） * 搬送担当者（担当者氏名） * 搬送担当者（電話番号） * 搬送担当者（メールアドレス） *

郵便番号 所在地 緯度 経度

2次医療圏 神奈川県モデル分類

- ☐ 高度医療機関
- ☐ 重点医療機関
- ☐ 重点医療機関協力病院①
- ☐ 重点医療機関協力病院②
- ☐ 重点医療機関協力病院③
- ☐ 重点医療機関協力病院④
- ☐ 重点医療機関協力病院⑤

一般 * 療養 * 精神 * 結核 * 感染症 * 許可病床数

0 床 0 床 0 床 0 床 0 床 床

退院基準を満たした患者の受入体制

退院基準を満たした患者受入実績 * 受入実績累計数

☒ 実績あり ☐ 実績なし 人

新型コロナウイルス療養患者の転院調整 * ※備考
療養解除後の転院となります。

☐ 可能 ☒ 不可能

退院基準①(10日、72時間)の受入可否 * 退院基準②(PCR 2回陰性)の受入可否 *

☒ 可能 ☐ 不可能 ☒ 可能 ☐ 不可能

受入開始時期 受入病床数（最大規模） 最新受入病床数

医療機関名称 受入可能時期 当日受入病床数（程度） 下り入院患者数

参照するレコードがありません。

酸素使用患者受入 *

☒ 可能 ☐ 不可能

人工呼吸器使用患者受入 *

☐ 可能 ☒ 不可能

気管切開患者受入 *

☐ 可能 ☒ 不可能

認知症患者受入 * 認知症その他

☐ 不可能 ☐ 徘徊 ☐ 暴力 ☐ 不穏・せん妄 ☐ その他

精神疾患患者受入 *

☒ 可能 ☐ 不可能

ADLレベル * ADLその他

☐ 自立 ☐ トイレ歩行 ☐ ベッド上 ☐ その他

食事状態 * 食事その他

☐ 介助不要 ☐ 要介助 ☐ 食事摂取困難 ☐ 胃瘻 ☐ 経管栄養 ☐ その他

排泄状態 * 排泄その他

☐ 自立 ☐ ポータブルトイレ ☐ オムツ ☐ 尿道バルーン留置 ☐ その他

リハビリ患者受入 * 透析患者受入 * 透析備考

☒ 可能 ☐ 不可能 ☒ 可能 ☐ 不可能

入院期間の制限 * 入院期間その他

☒ なし ☐ 1ヶ月 ☐ 2ヶ月 ☐ 3ヶ月 ☐ その他

後方支援病院 記入項目②

別添2

受入可能科目 *

受入可能科目_その他

- ☐ 内科
- ☐ 呼吸器科
- ☐ 消化器内科
- ☐ 循環器内科
- ☐ 脳神経内科
- ☐ 血液内科
- ☐ 内分泌内科
- ☐ 小児科
- ☐ 小児外科
- ☐ 外科
- ☐ 呼吸器外科
- ☐ 消化器外科
- ☐ 整形外科
- ☐ 脳神経外科
- ☐ 心臓血管外科
- ☐ 形成外科
- ☐ 肛門外科
- ☐ 産科
- ☐ 婦人科
- ☐ 皮膚科
- ☐ 泌尿器科
- ☐ 眼科
- ☐ 耳鼻咽喉科
- ☐ 精神科
- ☐ 歯科口腔外科
- ☐ 救急科
- ☐ その他

差額ベット *

☐ あり ☒ なし

ベット費用下限

 円/日

ベット費用上限

 円/日

差額ベット備考

病衣等持込 *

☒ 可能 ☐ 不可

病衣レンタル費

 円/日

病衣等備考

紙おむつ持込 *

☒ 可能 ☐ 不可

紙おむつ費

 円/日

紙おむつ備考

その他費用

退院基準①(10日,72時間)及び②(PCR2回陰性)のいずれか1つ又は両方不可の理由

その他連絡事項

患者の費用負担 *

☐ あり ☒ なし

搬送元病院 記入項目

搬送元の医療機関

EMIS ID

取得 クリア

※注意事項

搬送調整に関してお伺いすることがございますので、
課名・担当者名・ご連絡先の入力をお願いします。

医療機関名称

診療科

課名 *

担当者名 *

連絡先 *

患者基礎情報

性別 *

☒ 男性 ☐ 女性

生年月日

年齢 *

歳

患者の住む市町村名 *

転院先として希望する市町村名 *

患者状態

発症日 *

入院日 *

退院予定日

現在の入院病棟 *

☒ 新型コロナウイルス感染症専用病棟 ☐ 一般病棟

新型コロナウイルス療養中 *

☐ はい ☒ いいえ

退院基準 *

- ☒ ①発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合
- ☐ ②発症日から10日経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後24時間経過した後に核酸増幅法または抗原定量検査の検査を行い、陰性が確認され、その検査の

酸素使用 *

☒ なし ☐ あり

人工呼吸器使用 *

☒ なし ☐ あり

※注意

「あり」を選択した場合、
転院調整が難航する可能性があります

気管切開 *

☒ なし ☐ あり

※注意

「あり」を選択した場合、
転院調整が難航する可能性があります

認知症 *

☒ なし ☐ あり

精神科疾患 *

☒ なし ☐ あり

ADL *

☒ 自立 ☐ トイレ歩行程度可能 ☐ ベッド上 ☐ その他

食事 *

☒ 介助不要 ☐ 要介助 ☐ 食事摂取困難 ☐ 胃瘻 ☐ 経管栄養 ☐ その他

排泄 *

☒ 自立 ☐ ポータブルトイレ ☐ オムツ ☐ 尿道カテーテル留置 ☐ その他

リハビリテーション *

☒ 不要 ☐ 必要

人工透析 *

☒ 不要 ☐ 必要

想定入院期間 *

☒ 1ヶ月 ☐ 2ヶ月 ☐ 3ヶ月 ☐ その他

転院先の希望診療科目

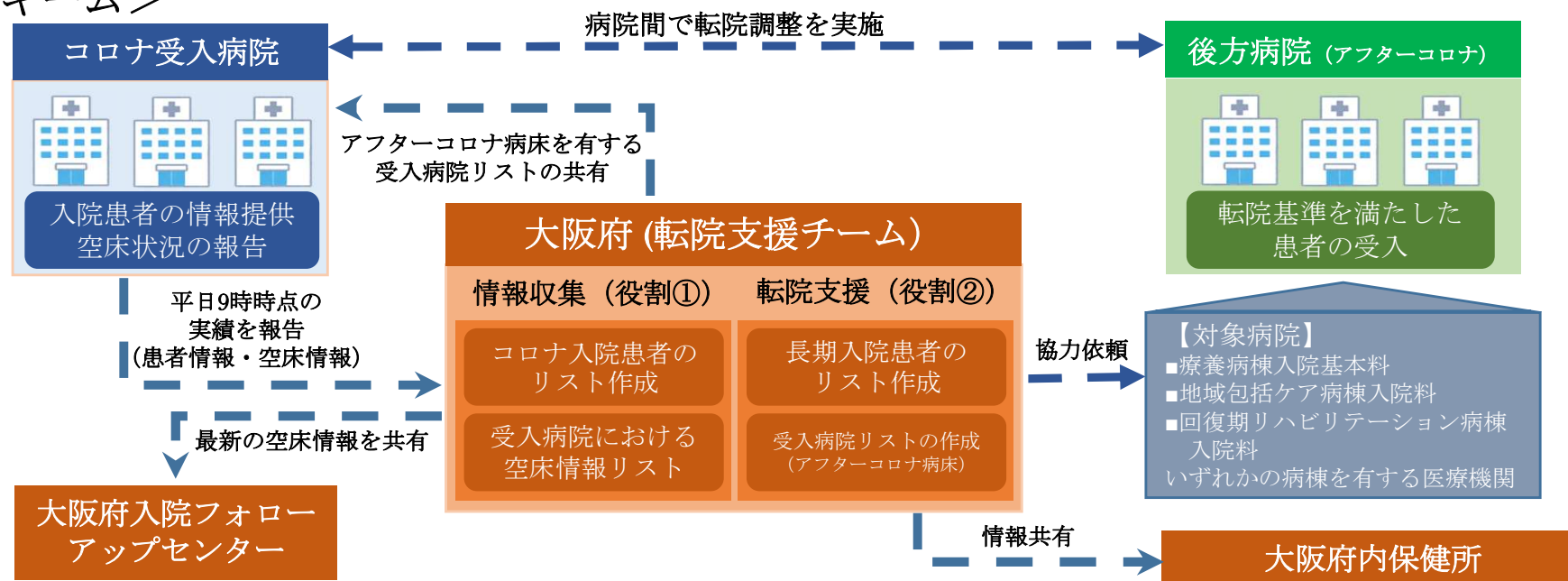
その他合併症等

特記事項

<事業概要>

- コロナ入院患者データを一元化し、長期入院患者を理由別にリストアップ
- コロナ受入病院の空床情報、日々リストの更新により転院状況をモニタリング
- アフターケアの受入を行っていただける病院リストを作成し、コロナ受入病院へ情報提供

<事業スキーム>



コロナ受入病院へのヒアリングからみえた実態

- ▶ **入院期間について**
中等症・軽症で入院した患者の
およそ **3割***が**15日以上**入院

※ 2/5時点退院済み患者1,054例中292例(27.7%)

▶ 長期化理由について (入院20日以上)

・ 転院調整中	42件	} 113件 (60%)
・ 受入先なし	5件	
・ コロナ以外の疾患	27件	
・ その他	39件	
・ コロナ症状が継続	74件	

(2/5時点入院中及び退院済み患者、回答全187件)

➡ 『長期入院患者の**6割**が「コロナ感染症の症状**以外**」の理由により入院を継続している』

< 転院支援に向けた取組み >

受入可能病院リストを作成、新型コロナ患者受入病院へのリストの提供、患者を受け入れた病院に対する支援金の支給などの対策を組み合わせることで、病病連携の推進に取り組み、長期入院患者の転退院の促進に繋げる

※ 2月16日付け厚労省事務連絡において「転院支援の必要性と具体的な仕組み」が示され、本府の取組みが先進的取組事例として紹介されている。

▶ コロナ退院（隔離解除）基準の周知

国において定めた退院（隔離解除）基準の更なる周知の徹底

▶ コロナ入院患者データの情報収集・精査

入院長期化理由の確認により退院基準到達患者を把握し、保健所と共有、管轄地域の患者の転院を支援

受入可能医療機関（療養病床等）概要

R3.2.24時点

▶ 受入可能病院リストの作成（アフターコロナ病床）

退院基準到達患者の受入可能病院リスト（療養病床等）を作成、コロナ受入病院に対して情報提供し、病病連携による転院を支援（2/24時点で124病院から協力をいただき、最大825床を確保）

医療圏	受入可能 医療機関数	受入可能人数			
		療養病床	包括ケア	回復リハ	計
1 豊能	8	11	13	5	29
2 三島	6	4	63	22	89
3 北河内	13	8	20	10	38
4 中河内	13	29	37	15	81
5 南河内	13	48	30	20	98
6 堺市	14	58	16	26	100
7 泉州	18	60	75	35	170
8 大阪市	39	101	76	43	220
	124	319	330	176	825

▶ 補助金制度の創設（令和3年1月から）

国の診療報酬上の加算措置に加え、大阪府独自の補助金制度を創設し、療養病棟入院基本料等の届出を行っている医療機関に対して、退院基準到達患者1名受入にあたり20万円の補助を実施し、後方支援病院を確保することで転院を支援



< 今後の取組み >

残る府内全病院について、退院基準到達患者の受入可能病院リストを作成の上、コロナ受入病院に対して情報提供を予定するなど更なる取組みを進める。

G-MIS への追加項目

【後方支援医療機関についての調査】

① 新型コロナウイルス感染症から回復したが引き続き入院管理を要する患者（回復後患者）の受入可否

選択肢

- ・ 受入可能
- ・ 受入不可能
- ・ （患者の状態等の）条件付きで受入可能

※新型コロナウイルス感染症から回復した患者とは、新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たした患者をさします。

※新型コロナウイルス感染症患者の受入如何に関わらず回答してください。

※当日の状況ではなく、医療機関の方針として、空床がある場合の受入の可否をチェックしてください。

※医療機関の方針が、今後変更になる場合はその都度変更をしてください。

② 回復後患者を条件付きで受入可能と回答した医療機関は患者の受入条件について以下の項目について、具体的な記載をお願いします。

医療処置の内容について（例：点滴治療、酸素治療、人工透析治療の有無など）
 （ ）
 看護内容について（例：食事内容、排泄、認知機能など）
 （ ）
 リハビリ内容について
 （ ）
 その他
 （ ）

【日次調査】

③ 回復後患者受入可能病床数

「実績日」の 23 時 59 分時点での、回復後患者受入可能病床数を記入してください。

（ ） 床